



国民春闘共闘

第12号
2016年3月10日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

16 国民春闘勝利！3・9 中央行動

16 春闘！全力でたたかい抜こう

2016年国民春闘最大のヤマ場となる3月16日の集中回答日、17日の全国統一行動日を翌週に控えた9日、国民春闘共闘委員会は、大幅な賃金引上げ・底上げ実現、労働法制の大改悪阻止、戦争法廃止などの要求を掲げ中央行動に取り組みました。日比谷野外音楽堂での労働者総決起集会を中心に、厚生労働省前要求行動、国会議員要請、国会請願デモを実施。前後して、宣伝行動、集会、省庁・業界団体・議員要請、パレードなど各産別・共闘組織が終日にわたり多彩な行動を展開しました。

16 春闘勝利！3・9 労働者総決起集会

傘の花が咲き春雨が調を奏でる中、正午過ぎから「16春闘勝利！戦争法廃止、賃金引上げ・底上げ実現、労働法制の大改悪反対3・9労働者総決起集会」を日比谷野外音楽堂で開催し全国から2000人の仲間が結集しました。

主催者を代表して国民春闘共闘・小田川義和代表幹事（全労連議長）があいさつ。東日本大震災、原発事故から5年を迎えるなか国の復興予算削減や、原発事故被害者への賠償打ち切り、汚染地域への帰還政策、原発再稼動に強く抗議



しました。また、戦争法廃止に向けて野党共闘を後押しする市民運動の強まりに「労働組合も傍観者であってはならない」と述べました。格差と貧困の改善に向けて「春闘でペアにこだわると同時に、賃金底上げ、均等待遇実現を重視し、非正規雇用労働者や若者をたたかいに組織しよう」と呼びかけました。

つづいて、労働法制改悪阻止、JAL不当解雇撤回争議などで共同を進める全国労働組合協議会（全労協）の金澤壽（ひさし）議長が「官制春闘などと言われているが、アベノミクスのために賃上げ要求をしているのではない。安心して働き暮らせる社会の実現をめざしたたかっている。大幅賃上げ、格差是正を勝ち取るためにともにたたかおう。そして安倍政権打倒の戦線をつくりあげよう」と連帯あいさつを行いました。

日本共産党・高橋千鶴子衆議院議員の国会情勢報告の後、生協労連、全教、広島県労連、自交総連、日本医労連の仲間が2016年国民春闘のたたかいにむけた決意表明を行いました。



生協労連パート部会幹事の大阪パルコープ労組・森尾由紀子さんは、「専門学校に進学したいと言う子どもに、どうしても資金を用意することが出来ずに進学をあきらめさせた」など非正規雇用、低賃金で貧困に苦しむ労働者の悲鳴を紹介。安倍首相の「パートで月収 25 万円」という言葉に私たちパート労働者は絶句し、怒りは頂点に達した。同一労働同一賃金を実現するとの

見え透いた嘘にも騙されない。「パートなめんな！」と安倍首相に突きつけ、最低賃金 1500 円の実現をめざすと怒りを込め発言しました。

全教の中村尚史（ひさし）副委員長は、最近 20 年間で子どもの貧困率が倍増したことに触れ、アベノミクスによる不安定雇用の増加、実質賃金の低下、「地方創生」や消費税増税、社会福祉の後退などで家庭や地域の経済基盤が壊され、高学費や教育ローンとなっている奨学金により子どもたちの学ぶ権利が奪われていると述べ、「憲法と子ども権利条約にもとづき学費無償化、給付制奨学金の確立にむけて全力をつくす」と決意表明しました。

広島県労連からはパート臨時委託労組連絡会・大内理枝会長など 5 人の仲間が発言し、「健康で文化的な最低限度の生活」とは「食べて生きる」だけじゃない。単身世帯で月額 22 万円、時間額 1400 円は必要だ。この収入以下の若者はたくさんいる。「好きな食事ができ、好きな服を買え、たまには旅行もしたい。若者には希望が必要だ」。母子世帯では年収 400 万円は必要だ。「安部首相！女性の活躍と言うなら、子どもを安心して産み、育てられる環境を整備して」。4人世帯では大学教育費を除き年収 660 万円が必要だ。と過日取り組んだ最低生計費試算調査結果を紹介し、「うちら人間じゃけん！憲法 25 条を実現させるためにたたかおう」と呼びかけました。



中央行動前日に歴史上はじめてナショナルセンターの枠をこえたタクシー・ハイヤー労働者が結集した「白タク合法化阻止！決起集会」を成功させた自交総連・菊池和彦事務局次長は、軽井沢スキーバス転落事故の原因は規制緩和にある。これほど規制緩和、安全が問題となっているのに安倍政権は、今度はタクシーで究極の規制緩和と言える「ライドシェア」解禁を進めようとしている。一般の自家用車で乗客を運ぶ違法な白タクであり、労働時間管理もアルコールチェックもなく、危険極まりないと述べ、「規制改革だ。成長戦略だ。と言って、白タク解禁を進める安倍政権を倒さない限りタクシーの安心・安全は守れない」と力を込めました。

急性期病棟で働き 11 年目となる看護師の北海道医労連の松田加寿美（かすみ）さんは、人員不足で残業が多く、休憩も満足にとれず、腰痛や妊娠障害、メンタル疾患などが多発している職場の実態を告発し、「看護師は命を削り健康を犠牲にして働いている」と述べ、採用しても同じ人数だけ退職してしまう。人員不足の解消には労働環境を整えることが課題だ。春闘での労働条件改善とともに政府に処遇改善を求める運動を進めることが重要だと強調しました。また、政府が全国で 20%の病床削減を計画していることに対し、「医療・介護難民をさらに増やすことになる。絶対に許す訳にはいかない」と力強く発言しました。

国民春闘共闘の森田稔代表幹事（東京春闘共闘代表）が「政府・財界は政治闘争と経済闘争が結合することを恐れている。大幅賃上げの旗を高く掲げ、政治闘争との相乗効果で2016年国民春闘勝利にむけて全力をあげよう」と閉会あいさつし、団結ガンバロー三唱で集会を締めくくりました。

降り続く雨の中、国会に向け力強く請願デモを行った後、「戦争法廃止、長時間労働の抑制と良質な雇用の確立」を求めて議員要請行動を実施しました。

厚生労働省前要求行動～賃金を上げること、雇用を守ることは社会の要請～

労働者総決起集会に先駆け「賃金引上げ・底上げ、労働法制大改悪反対、社会保障制度拡充」を求めて厚生労働省前要求行動を実施しました。

主催者あいさつに立った国民春闘共闘・大谷充代表幹事（出版労連委員長）は、「誰もが人間らしく暮らせる、人間らしく働ける社会の実現をめざして全力でたたかいぬく決意を固め合い、2016年国民春闘に奮闘しよう」と呼びかけました。

中央社会保障推進協議会（中央社保協）の山口一秀事務局長が連帯あいさつ。社会保障拡充のため消費税が増税されたが、安倍政権のもとで成立した医療・介護総合法、医療保険制度関連法に基づいて各地域で様々な制度改悪が進んでいることを指摘。「地域活性化、国民の命・暮らしを守るために共同を広げていこう」と訴えました。

国民春闘共闘・井上久事務局長（全労連事務局長）は、賃上げを求める世論が広がり、戦争する国づくりに抗するたたかいの中で、野党5党が戦争法廃止、安倍政権打倒、国政選挙での協力を合意するなど、頑張ればこれまでにない前進をつくる事が出来る春闘となると情勢報告を行い、「賃金を上げること、雇用を守ることは社会の要請になっている。最低賃金今すぐ1000円の実現、全国一律最賃制確立、人間らしい暮らしが出来る賃金にしろという声を徹底して強めよう。戦争法廃止2000万署名を徹底してやり切り、春闘を安倍政権打倒のたたかいに発展させよう」と呼びかけました。

つづいて、3組織の代表が決意表明。「1と6をもじって16春闘を『ヒーロー春闘』と位置づけた。全ての組合員ひとりひとりが主役の春闘にするために奮闘していく」（国公近畿ブロック・大阪国公・堀川裕之書記長）、「今の最低賃金は全国バラバラで、憲法25条の生存権を守れない超低額だ。しかもその額を決める審議会の委員任命は不公正。どれをとっても納得できるものではない。厚労省は働く者のための施策をしっかりと進める」（全労連・全国一般大阪府本部・竹口登美（とみ）書記次長）と訴えがつつきました。

89歳になる建交労広島県本部の廣木昭代副委員長は、「公園清掃の労働者として現役バリバリで働いている。厚労大臣に一言いいたいので上京した。建交労は社会保障要求の中に仕事の要求もかけてきた。憲法27条には『すべて国民は勤労の権利を有し、義務を負う』とある。ならば国は社会保障費削減をやめ、失業者や求職者、若者から高齢者まできちんと働ける仕事をつくれ」と熱く語りました。そして、19歳の時に終戦をむかえた経験を語り、「戦争は絶対しちゃいけない。戦争法はきっぱり廃止にしよう」と力強く呼びかけると参加者から大きな賛同の声が上がりました。



STOP暴走政治、戦争法廃止！ 壊すな憲法
暮らしまもる共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化